

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2003-501406 (P2003-501406A)

【公表日】平成 15 年 1 月 14 日 (2003.1.14)

【出願番号】特願 2001-501371 (P2001-501371)

【国際特許分類】

C 0 7 C 1/24 (2006.01)

B 0 1 J 29/85 (2006.01)

C 0 7 C 11/04 (2006.01)

C 0 7 C 11/06 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 1/24

B 0 1 J 29/85 Z

C 0 7 C 11/04

C 0 7 C 11/06

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 5 日 (2007.6.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 オキシジェネート供給原料からオレフィン生成物を製造する方法であって、前記方法は、
モレキュラーシープ内において触媒部位を有するシリコアルミノ燐酸塩モレキュラーシープを提供すること；
水分子との接触から前記触媒部位を保護する遮蔽物をシリコアルミノ燐酸塩モレキュラーシープに提供すること；
前記遮蔽物を除去すること；及び
前記遮蔽物を除去した後、オレフィン生成物を製造するためにモレキュラーシープをオキシジェネート供給原料と接触させること
を含み、前記オキシジェネート供給原料と接触するシリコアルミノ燐酸塩モレキュラーシープが少なくとも 0.15 のメタノール捕捉指数を有する前記方法。

【請求項 2】 前記供給原料と接触するシープが、5 分の標準的作業時間及び 25 時間⁻¹の WHSV において少なくとも 10 重量%のメタノール転化率を有する、請求項 1 の方法。

【請求項 3】 前記触媒部位が供給原料と接触前に水分に暴露されても良いことを条件に、モレキュラーシープを、前記供給原料との接触の前に少なくとも 150 の温度で維持する、請求項 1 又は 2 の方法。

【請求項 4】 前記遮蔽物がテンプレート剤である、請求項 1 又は 2 の方法。

【請求項 5】 200 乃至 800 の温度で加熱し、モレキュラーシープをか焼するのに有効な条件下で酸素含有気体と接触させることによって、又はモレキュラーシープからテンプレート剤を除去するのに有効な条件下で実質的に O₂ の不存在下に、不活性気体と接触させることによって、テンプレート剤を除去する、請求項 4 の方法。

【請求項 6】 前記遮蔽物が無水の気体、又は無水の液体である、請求項 1 又は 2 の方法。

【請求項 7】 前記遮蔽物が炭質材料である請求項 1 又は 2 の方法。

【請求項 8】 前記テンプレート剤が、テトラエチルアンモニウム塩、シクロペンチルアミン、アミノメチルシクロヘキサン、ピペリジン、トリエチルアミン、シクロヘキシルアミン、トリエチルヒドロキシエチルアミン、モルホリン、ジプロピルアミン、ピリジン、イソプロピルアミン、及びそれらの混合物から成る群から選択される、請求項 4 の方法。

【請求項 9】 前記無水の気体が、窒素、ヘリウム、 CO 、 CO_2 、 H_2 、アルゴン、 O_2 、軽質アルカン、及びそれらの混合物から成る群から選択される気体を含み、及び前記無水の液体が、アルカン、シクロアルカン、 $\text{C}_6 - \text{C}_{30}$ 芳香族化合物、アルコール、及びそれらの混合物から成る群から選択される、請求項 6 の方法。

【請求項 10】 前記炭質材料がテンプレート剤を加熱して誘導される残留炭素である、請求項 7 の方法。